

中国編

訪日旅行者ついに500万人を突破

訪日外国人旅行者数は、昨年10月末時点で2000万人を突破しましたが、その4分の1以上を占める551万2700人もの訪日旅行者を数える中国市場は、文字通り、インバウンドを牽引する最重要マーケットです。同時に、今後の訪日旅行におけるクオリティ面においても力ぎを握るとみられる中国市場では、日中双方の関係者による「質の向上」に向けた取り組みも進められています。

インバウンドの最重要市場に

中国の人口は13億6782万人、国民一人当たりのGDPは7589米ドル(何れも2014年)で、日本政府観光局(JNTO)によると、2015年における訪日中国人旅行者は499万3800人を数えています。

これまでの最高だった2014年における240万9200人に比べて107.3%増と倍以上の伸びを記録し、300万人台をスキップし初めて400万人台に達すると同時に、一気に500万人に迫る数字となりました。

JNTOでは、比較的安定していた日中関係や消費税免税制度の拡充、円安、中国経済の成長に伴う海外旅行者数の増加が、中国国内における訪日需要を一気に拡大することになったと分析。航空路線での新規就航や既存路線の増便が相次いだほか、クルーズ船寄港も大幅に増加するなど、日中間の輸送力の拡充も旺盛な需要をしっかりと下支える形となっています。

特に、北京・上海・広州の三大市場だけでなく、瀋陽や青島、南京、成都などの地方都市でも、JNTOが重点デスティネーションに設定した九州への誘客促

進策をはじめ、市場特性に合わせた訪日旅行促進事業を数多く実施したことを通じて、中国市場における訪日需要の底上げが実現されました。

さらに、2015年10月からは、JNTOのホームページや中国国内のSNSに4コマ漫画を連載して、中国人旅行者に日本文化やマナーへの理解を深めてもらう取り組みも進められています。

「質の向上」を友好の施策に

訪日観光旅行を取り扱う日本側指定旅行会社で構成される中華人民共和国訪日観光客受入旅行会社連絡協議会(中連協)は2016年11月、訪日観光旅行における旅行商品の「質の向上」を中国国家観光局と中国各地の旅行会社にPRすると同時に、上海で開催された中国国際旅游交易会(CITM)を視察するため、中連協役員訪中団を中国に派遣しました。

11月7日に中国国家観光局で行われた同訪中団の面談では、中連協の吉村久夫会長が日本側における旅行会社と旅行商品の「質の向上」に向けた取り組みを説明。中国からの訪日旅行者の増大

に伴い、中国と日本の両国において共同で「質の向上」への取り組みを継続的に実施していきたい意向を伝えています。

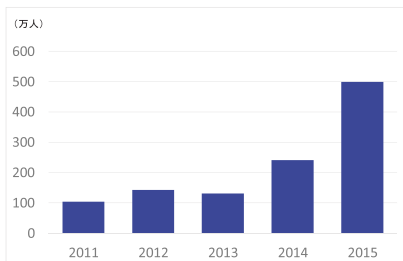
中国国家観光局側からは「質の向上」に向けた取り組みが有意義なものであり、その方向性を支持する考えが表明されました。また、いわゆる赤字ツアーや悪質な業者に対しては、管理を強化する方針が示されるとともに、風俗や習慣、文化の違いに起因するマナーなどの課題については、「文明旅遊」をキーワードに日中双方の理解が深められるよう引き続き努力する意向も明らかにされています。

一方、中国国内における「質の向上」を



中連協役員訪中団と中国国家観光局との面談

過去5年間の訪日旅行客推移(総数)



出典：日本政府観光局(JNTO)

中国 訪日外客数(総数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
2011	99,131	105,362	62,450	76,164	58,608	61,419	86,963	102,640	112,493	106,174	92,154	79,688	1,043,246
2012	136,665	81,966	129,302	148,793	112,152	125,983	204,270	190,254	121,673	69,713	51,993	52,336	1,425,100
2013	72,301	80,903	102,265	100,160	81,571	98,996	139,905	162,288	156,201	121,335	101,940	96,572	1,314,437
2014	155,605	138,236	184,064	190,558	165,784	173,046	281,309	253,802	246,105	223,214	207,462	189,973	2,409,158
2015	226,214	359,080	338,121	405,731	387,170	462,248	576,868	591,510	491,201	445,562	362,950	347,034	4,993,689

出典：日本政府観光局(JNTO)

図る取り組みの実例として、観光スポットのみならず、都市全体あるいは河川流域といった広い範囲で「安全・安心」を目指したインフラ整備が実施されていることも紹介されました。

さらに、中国国家観光局側から、2017年が「中日友好45周年」に当たる年であることも踏まえ、「質の向上」についても共通の課題として認識していることから、中日友好の施策として尽力する考えも強調されています。

これに対して、吉村会長は「将来にわたって双方向交流の拡大に努める」意向を伝え、中国側による継続的な支援を改めて要請しました。

JNTOが品質向上へ支援事業

JNTOは、ビジットジャパン事業訪日観光プロモーション方針で中国からの訪日ツアーの質向上を掲げ、JATAとも連携してツアーオペレーター品質認証制度紹介の冊子制作などを行っています。

同制度の冊子については、既存の英語版をもとに簡体字版1万部を作成し、中国全土において、123の現地旅行会社及びJNTO各事務所へ6000部、また日本国内の認証会社などへ4000部を配布し、プロモーションを展開。

ウェブサイト掲載では現地旅行会社が参照しやすいデザイン・機能で認証会社紹介コンテンツを簡体字にて制作し、JNTOサイト簡体字版及びJATAのホームページにコンテンツを公開しています。

さらに、2016年11月7日、8日、10日に北京・広州・上海で品質認証向上制度の認知度を向上するためのセミナー・商談会を実施しました。